

あゆみ学園だより

2022年10月号

福岡市社会福祉事業団
福岡市立あゆみ学園

秋分の日を過ぎたというのに暑い日が続いています。年々、夏が長くなってきたように感じます。熱中症警戒アラートは毎日のように発表され、日中の季節感は狂わせられますが、夜は、時々、涼しい風を感じることもあります。朝夕の寒暖差が大きくなり、体調を崩しやすい季節でもあります。子どもたちの健康面には十分に気をつけていきたいと思えます。

あゆみ学園は、運動会の練習の真っ最中です。各クラス、子どもたちが興味を持ち楽しめる内容をベースに内容を組み立てています。運動会は、日々の療育の延長上にあるちょっと特別な日です。子どもたちにとって環境は日常と少し異なり、場所が違ったり、応援してくれる人が多かったです。ドキドキするかもしれません。でも、それを乗り越える経験の中で、思いがけない成長をみせてくれることがあります。子どもたちの成長を見て感じて、成長した姿と一緒に喜びあえる運動会にしましょう。

コロナ禍であるため、今年もクラスごとの実施となります。是非、子どもたちの成長に熱い声援を送ってください。

園長 加治木ちさ子

行事予定

5	水	総合避難訓練	20	木	学習会「福祉制度」(ひよこ)
14	金	短縮保育(りす・ぞう)			グループ懇談(ぞう)
15	土	うんどう会	21	金	歯科健診・月例保護者会
17	月	振替休日			グループ懇談(りす)
18	火	学習会「福祉制度」(うさぎ)	24	月	短縮保育14:15降園(りす・ぞう)
19	水	学習会「福祉制度」(ひよこ)			~28日(金)
			25	火	歯科健診

新型コロナウイルス感染症とその他の感染症・ワクチン

★新型コロナウイルス感染症(コロナ)の第6波と第7波は、オミクロン株によるもので過去最大の流行になりました。日本人の約2割(2,000万人以上)が既に感染しました。小児のコロナ症例も7波で増加し脳症などの重症例も報告されています。一方で社会活動の活性化も求められ、感染者や濃厚接触者の待機期間が短縮されました。ただしハイリスクの方々が集まる場ではより慎重な対応が求められますのであゆみ学園でも二次感染を減らす対応をしていきます。コロナワクチンは約3億回接種が既に行われましたが、12歳以上に追加接種(3回目)が勧められ、オミクロン株対応ワクチンの承認、5~11歳の追加接種を推奨するか、生後6カ月~4歳のワクチン接種をどうするか等が検討されています。★コロナが落ち着いてきた一方で、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルスなどが流行しています。これからの季節、インフルエンザやウイルス性下痢症(ノロウイルスやロタウイルス)の流行も心配されます。特にインフルエンザは最近の2シーズン、日本ではほとんど流行しませんでした。今年オーストラリアや東南アジアなどではA型が流行しました。海外からの渡航者制限も緩む中、日本でもインフルエンザが流行する可能性があります。ワクチン接種を含め、通常の感染対策を忘れないようにしましょう。 宮崎千明(小児科医)

